

学校だより
6月号

つなしま



令和8年5月25日
横浜市立綱島小学校

【学校教育目標】 共に創り 共に歩み 共に輝く

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsunashima/>

生物と関わる中で

校長 金森孝子

「昨日、学校に来たら芽がでていたんだ。たくさん!!」5月19日火曜日の朝、1年生が何人も植木鉢の前に集まり、自分のあさがおの芽に水やりをしています。「たくさん芽が出ているね。いつ、芽が出たの?」と聞いたところ、弾んだ声で説明をしてくれました。前の週の金曜日に私が観察したときには、まだ、誰の植木鉢からも芽は出ていませんでした。土日の2日間の休みを経て登校したら、多くの植木鉢にアサガオの芽が出ていたというわけです。

同じ日、2年生は「なえやさん」から、野菜の苗をうけとり、昨年から使っている自分の植木鉢に植える活動をしていました。「なえやさん」は、学校に苗を納入してくださっている方です。自分が育てたい夏野菜のチケットと苗を交換し、iPadで苗の写真を撮ったり観察したことをカードに書いたりもしました。ミニトマト、ナス、エダマメ、オクラなど、すでに花をつけているものもあります。2年生は、その他、6月、畑にさつまいもも植えます。「おいしいやさいをそだてよう」という願いをもって、子どもたちがどのように野菜と関わっていくか大変楽しみです。低学年は、主に「生活科」で、生き物を育てる活動を通して、生命への親しみや気付きを大切に学習に取り組みます。

3年生は、ここ2週間の間に、プランターにヒマワリ、ホウセンカ、ピーマン、オクラの種を蒔きました。グループで育てる植物を分担し、4種類の植物を協力して育て、観察していきます。「理科『身の回りの植物』」の学習として、植物を種から育て、育ち方の順序や体のつくりを学んでいきます。それぞれの成長の違いや共通点を基に問題を見だし、表現する取組を進めます。

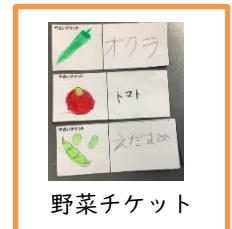
4年生は、畑に畝(うね)を作り、グループでヘチマの苗を植え、育てています。茎が伸びてきたことから支柱を立て、つるが支柱に巻き付いていく様子なども観察していきます。「理科『あたたかさとしき物』」の学習の中で、根拠をもとに予想や仮説を立て、季節による育ち方の違いを観察し、考察することを学んでいきます。

5年生は、学校の水田で稲作の作業に取りかかっています。昨年度は20キロ以上の白米を収穫することができました。今年度も、昨年に引き続き、地域の飯田さん、小池さん、吉原さん、中尾さんに多くのサポートをいただきながら、田植えに向けて準備を進めています。草取り、田起こし、20日水曜日には、「しろかき」を行いました。「社会科『未来を支える食料生産』」の学習も並行して進めているので、生産に関わっている人々の努力や工夫について体験を通して考え学ぶことができます。

6年生は、「理科『植物のからだとはたらき』」の学習で、実験に使うためのジャガイモを育てています。葉に日光を当てる部分とあてない部分を対照実験し、葉に日光があたるとでんぷんができることを実験結果から学びます。

個別支援学級では、一年を通して、栽培活動に取り組んでいます。学年に応じた植物を用いながら、種を蒔いたり苗を植えたりして、お世話すること、成長を観察すること、花の一部が実や種になっていくこと、野菜を収穫して調理することなど、時間の経過や季節の移り変わりを感じながら体験的に学んでいきます。

植物に限らず、身の回りの生物に関わる学習を横断的に総合的に、そして体験を通して学ぶことにより、子どもたちの学びは深まり、充実したものになります。毎年継続して生物に関わることで、自然を愛する心情や生き物を尊重する態度も蓄積されていきます。ぜひ、ご家庭でも、子どもたちが今関わっている生物について話題にしてみてください。



野菜チケット



5年 しろかき (5月20日)